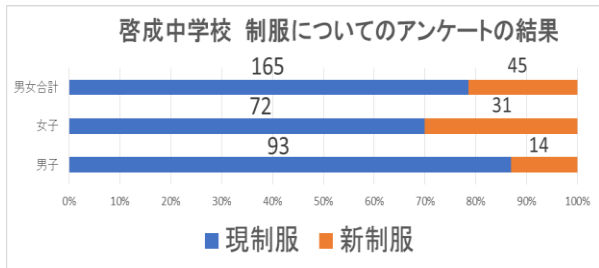


## 制服の検討をしました。

啓成中学校開校30年を迎え、制服の業者さんの方からリニューアルの提案があり、生徒会に動いてもらい、生徒のみんなの意見を集約してもらいました。写真のように今までの制服とリニューアル(ちょっとスリムタイプ)を並べて変更点を手書きで示してくれました。A or B で今からの制服はどちらがいいのかアンケートをとってくれました。



結果は、私の予想とは違い従来の制服が選ばれました。「生地が薄い」とか「今までのほうがゆったりとしていい」とかしっかり細部まで比較してくれたようです。アンケート結果を生徒会が校長室に持ってきたので、「じゃあ、エクセルでグラフ作ってきて！」と頼んだら次の朝には「はいできました」とUSBメモリーを持ってきてくれました。これが生徒会作成のグラフです。完成度の高さと仕事のすばやさ感動です。きっと将来いい仕事をしてくれることでしょう。



このアンケートの結果を制服の業者さんに直接出向き、プレゼンをしてくれました。業者さんからも「生徒だけのプレゼンすごいですね。ありがとうございます。」という言葉をいただきました。自分たちのことは自分たちで決めていくというスタンスがしっ

かりと浸透してきています。学校生活で困っていることは自分たちで大人に提案し変えていく行動をもっと実践させていきたいと思います。新しい生徒会も、先輩に負けないうらい頼もしい生徒会です。

## 子どもは風の子！雪大好き！

18日は2月では珍しい5cm以上の積雪になりました。子どもたちは10:00登校にしましたが、グラウンドも一面、真っ白の雪景色に、通常に登校できた先生方も童心に帰り、ミニ雪だるまを作っていました。昼休みには、グラウンドいっぱい子どもたちが出てきて、雪合戦やら雪だるま作り!! 子どもたちはやっぱり風の子です。歓声を上げながら走り回っている姿に、ひとときコロナ禍を忘れていました。でも、あとは靴も靴下もズボンもスカートもビッショビショ!



保健室の先生は超笑顔でてんてこ舞いでした。期末テストでしたが、ほっこりほっこのり1日でした。

## 市プログラミングコンテスト第1位

伊万里市では、デジタル時代の地域を支える人材育成のためにプログラミング教育を推進しています。オリジナルのゲームを作るなどのプログラミングコンテストがあり、見事、啓成中1年、前田悠成さんが1位に輝きました。ソサエティ5.0の世界にまた一歩近づいています。

### プログラミング市内小中学生コンテスト 啓成中の前田さん1位

伊万里市 内の小中学生を対象にしたプログラミングコンテストの表彰式が14日、市民センターで開かれ、啓成中1年の前田悠成さんが1位に輝いた。前田さんは、パソコンのスペースキーを連打してキャラクターを駆走させる「かけっこゲーム」を制作。プログラムされた対戦相手の速さを、ゲームをするごとに変わるように工夫した。



プログラミングコンテスト入賞者と深瀬弘徳伊万里市長(中)祝詞、校長室教育長(中)祝詞、伊万里市民センター  
点が評価された。 5年) > 3位 岩本権典(同  
(青木宏文) 6年) > 特別賞 坂田雄斗  
他の入賞者は次の通り。 (山代理小6年)、藤田誠  
2位 橋本寛子(立花小 貴(大坪小5年)

※来週は高校入試、卒業式。大きな岐路・節目の時です。コロナとともにみんなでがんばりましょう!